

震度5

連続火災を想定に 消火訓練実施

6都県市合同防災訓練

9月19日、地震国メキシコで今世紀最大といわれるマグニチュード8.1の大地震がおこり、甚大な被害をもたらしたことは記憶に新しいところですが、防災の日の9月1日、千葉、東京、横浜など、6都県市による第6回合同防災訓練が行われました。横芝町の防災訓練は、駿河湾沖の海底域を震源にマグニチュード8.0の大地震が発生、県内は震度5の強震に見舞われ、これにより、横芝中、大総小学校に火災が発生——という想定のもとに繰り広げられました。

機敏に消火訓練

役場内には、午前4時30分に



横芝中学校で行われた消火訓練

町長を本部長に災害対策本部が設置され、まもなく男子職員全員に非常招集がかかり災害応急対策を実施。一方、火災発生心想事成場所となった2校には、消防署から午前6時に出勤指令を受けたそれぞれの地区の消防団が素早く集結、直ちに指揮者の指示に従い、日頃の訓練を生かした火災防御を横芝分署と合同で機敏に行いました。最後に

出動した消防団員や役場職員を中学校に集め、町長が訓辞を行い防災訓練は終了しました。

普段から心構えを

町長からの訓辞の中にもありましたが、「災害は忘れた頃にやってくる」という警句のように、いつ起きるかわからない災害に普段から十分な心構えをもつことが必要です。「備えあれば憂いなし」——です。

毎朝一時間の健康づくり

男性長寿NO.1の伊藤さん(道貫)

「子供5人、孫7人、ひ孫2人、少ないかな」と笑う伊藤常次さん。血色が良く、新聞はメガネをかけずに読み、耳も達者です。

今、日課として「百歳を生きるには健康が大事、特に足腰を

百歳にあと一息川口さん

町長が高齢者へプレゼント 支庁長が高齢者へプレゼント

「末長く健康で幸せに」と、敬老の日を真近かに控えた13日、町と県から八十歳以上の長寿者に記念品などが贈られました。

今年の対象者は133人(男44、女89)で、佐瀬町長と実川助役が一軒ずつ各家庭を訪問して、祝い金と知事からの襟付ボンチヨを手渡しました。

また、この日、佐瀬町長は、松本山武支庁長ともども坂田池畔の老人ホームを訪問し、まもなく百歳(11月17日)をめ得太く迎えられる長寿ナンバーワンの川口たつさんに内閣総理大臣の表彰状と銀杯を贈ったほか、お年寄り全員の長寿を祝福しました。

高令者へ記念品



町長から伊藤さんへ



支庁長から川口さんへ